

風光



2月27日(金)に障害協議会主催のスポーツ交流会が瑞穂生涯学習センターで行われました。障害協では、「会議の場だけではなく、楽しみながら違った交流もしたい!」という組合員の要求から、スポーツ交流会を企画。今回はその第2段です。

参加者はそよ風・あつた・ちよだ・めいほく・障害部・ほけつと・TUTTなどから20名以上が参加しました。

ボールが到着していないこともあって、初めにタオルなどで即興で作ったボールでドッチボールをしました。軽いボール

第2回 障害協議会主催スポーツ交流会開催!

なので力を入れてもなかなか飛ばず...でしたが、大いに盛り上がりました。

ボールが到着し、いよいよバレーボール対決です。3チームに分かれて総当たり戦を繰り広げました。

15点先取で勝敗を決める、サブは入るまでというルールでゲームスタート。初対面の人もいて、初めはぎこちなさもありましたが、対戦が進むうちに仲間意識も高まり、互いに声を掛け合ったり、点が入るとハイタッチして喜び合う姿も見られました。

勝利したチームのめいほく・障害部の塚本さんに勝利した感想を聞くと「今日に向けて練習してきました。田部井さんを中心にチームワークも良く勝つことができました。軽いボールができてうれしいです。」とのコメントを頂きました。チームリーダーのそよ風の矢先さんは「厳しい戦いでしたが、汗水流して戦った結果だと思えます。楽しみながらできてよかった」と監督のような感想をいただきました(笑)。

最後はみんなで大縄跳びをしました。8の字に入って出て、一回でも間が空いてしまったり引っかかってしまったら抜けていくというルールで行いました。大人たちが本気でやっている姿に隣のコートでバトンの練習



をしていた小学生の子どもたちも参加し、さらに白熱していきましました。途中で縄を回すスピードが速くなったり、人数が少なくなってくると前の人との間が空いてしまったり脱落していく人がいたり盛り上がりましました。

最後まで残り、縄跳びチャンピオンになったほけつとの林さんに感想を聞くと「20代後半でも動けて、身体が動かせてよかった。小学生とも戦えてよかった」と言っていました。他にもほけつとの渡辺さんは「いい汗がかけました。久しぶりに本気で戦い足が痛いです。」との感想。

組合に加入はしていないけれど今回参加していたTUTTの二人から「明日の筋肉痛が怖いですが楽しかった。現場にいると他の人との交流がないので、交流ができて有意義に過ごしました。」「こういう場があるといい。日頃のストレスが発散出来ていい」と素敵な感想をもらいました。次の機会も参加して、組合にも加入してほしいですね。

(天白福祉会分会 原)

【風の音】

今の仕事を始めて2年。何にも自信を持てることはないけど、風邪を引くことなく、丈夫な身体は唯一の自信(?)でもあった。でも逆に、仕事辛い日々が続けば、熱でも出れば休めるのになー、と何度思ったことでしょうか。

大きな行事前、季節的にも体調を崩しやすい時期。子どもも職員もお休みが増えていた。いつものように他人事のような気分ではなかった。ある朝、ついに!身体がなんだかいつもと違う。もしやこれは、体温計の出番!?

そして:微熱。体調不良でお休みなんて、なんか特別な気がして、一瞬喜びかけたけど、だるくて寒気がして頭痛がひどくて起き上がれない。

ちよつと寝て、病院に行かなければと必死で起き上がり、バタバタ準備している...あれ?なんか症状が消えていく???

熱を測り直すとほとんど平熱。頭痛はするけど、病院へ行く理由がよくわからなくなる。こうなってくると、忙しい時期に休んでしまったという現実が急に襲われる。こんなはずじゃ...!

医者には風邪と言われるも、頭痛なんて普段もあるし...!

思ったこと。疲れとストレスが溜まってたんだよね。

そして翌日、何とも言えない気分です。でもさ、有給休暇やっとなんかだ!こんな風にならなければ、権利行使できたらいいな、と、ちよつとよかつたね、心の中で呟きました。しばらく微熱と頭痛がぶり返しましたがね。皆さん、ちゃんと休めてますか?

P・N 楽天家

1月24日(土)に「第22回地本委員会」が開催され、地本委員・執行委員・顧問・オブザーバー合わせて、121人の参加がありました。それぞれの現場実態から春闘方針を補強する発言が20本あり、春闘方針、東海地本統一要求が全会一致で確認されました。午前中には労働関係法令の学習会もあり、その中で学んだことが統一要求に結びつく提案もありました。1年をかけて、私たちの労働そのものを見つめ直し、誰もが生き生きと働き続けられる社会を目指してがんばりましょう!

地本委員会発言集

けやきの木分会

鈴木地本委員・田中地本委員

平和問題について

鈴木・このまま

「戦争」もいつか

が当たり前の社会

にならないか心配。

戦争は犠牲しか生まないことを、

子どもたちに伝えていく。

田中・平和のとりのくみで像列

車の作者に来てもらう。戦争の

こと子どもたちは素直に「怖い」

「ダメ」と答える。

ちひろリーフも使

い、家族や周りの

人にも広げてほし

い。



めいほく障害部分会

塚本地本委員・西岡執行委員

NPT代表団とあすキャン

塚本・NPTに

参加させてもらう

ことになった。平

和コンサートなど

とりのくみを作っていく中で学ん

できた。声に出すことが大事。

勉強してきた。

西岡・あすキャン

と福島ツアーの

お知らせ。3月11

日にキャンセル点

灯と黙とう・メッセージの代読

など各分会でとりのくみを進めて

ほしい。写真とメッセージを書

いて、それを現地に届ける。福

島ツアーにも参加を。



川畑執行委員

保育協で名古屋市と懇談

みよしから家庭

保育室が格付け制

度から外される問

題で何かできない

かと要請があり、保育協として

市に懇談を申し入れる。家庭保

育室への補助が下がれば保育に

も影響がでる。こういう市民の

声を担当に届いているのか疑問

に思う。現場の声伝えるため懇

談を続けていく。保育ネットで

もFAX要請を行う。広げたい。



西部医療センターくさのみ分会

長尾地本委員

人材確保署名の目標達成

特別のことはし

ていない。取り組

み方を論議し、

「なぜ取り組むの

か」を学習した。給与が低い実

態や権利としての福祉づくりを

国に求めることの大切さを学ん

だ。伝えやすい署名。見せて話

すと分かりやすい。署名が世論

を変える力になる。



天白福祉会分会石濱オブザーバー

昭瑞天支部大会の報告

今年ほっとはむが加わった。

今までつながり作

りをつくってきた

成果。支部で初め



ての障害職場の組合。障害職場

を知る、いきつけにしたい。

支部大会では職場間で労働条

件の格差をすり合わせる大変さ、

退職者の思いを忙しさの中で聞

けなかつた悔しさなどの報告が

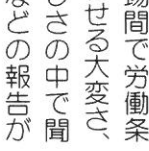
あった。若い人が増え、役割を

担ってくれる。ベテランも今ま

で以上に要求される。疲れすぎ

ず、ちゃんと休むことも意識し、

運動・学習をすすめたい。



天白福祉会分会 栄地本委員

職員分担金と支部の組織拡大

給食担当者の賃

金財源を特業手当

からアレルギー対

応補助に替えたい

と理事会から提案。分会でも理

解を深めてきた。自分たちの給

与にもっと自覚的になり見直す

いきつけになった。

組織拡大では分会が窓口にな

りほっとはむへの勧誘を続け原

さんが加入してくれた。ほっと

はむでは一時金の問題で、原さ

んが要求を出すので、ここから

も拡大につなげたい。



第2めいほく分会笠井地本委員

14秋闘の労使基本協定について

合同三役で相談をして、理事

会といい関係づく

りを目指して話し

合いをしてきた。



「時間的余裕」「同意を得て」という言葉に理事会として引掛かり、結べないと返される。でもあきらめずにいい関係づくりをするための協定書だと思ひ、話し合い伝えながら協定を結んでいきたい。

犬山さくら分会濱田地本委員

働き続けられる職場づくり

新園建設に向

け建て直し工事

などあり、しん

どいと言えない

状況の中で、仲間が亡くなると

いうとても悔しい思いをした。

法人との懇談でも休みをとる事

を話し合う。休みが取れない状

況のままではいけない、健康で

ないと仕事は続けられないので

改善を求める要求書を出す。

赤ちゃんの家さくらんぼでは、

分会員は少ないが拡大し、良い

職場づくりをしたい。健康で働

き続けられる職場づくりを。



新瑞福祉会分会中野地本委員

理事会提案にどう向かうか

理事会から厳し

い情勢や法人の方

針など話しあう労

使協を定期的にし

たいと提案を受ける。組合とし

て一抹の不安があったが、「組

合のスタンスをつらぬく」「決



定機関ではない」ことを確認して参加してきた。独自給与表を組合としてどう考えるかなど話されるが、組合のスタンスを守る。労使対等に話せるよう学んでいく。

あいかわ分会 安立地本委員 労使懇談で働きやすい職場に

名南子どもの家



の3分会では使用者側からの提案で労使懇談をしてきた。課題や情報など共有し、法人の展望や組合の考えなど伝え合う場になる。理事会から家庭保育室のことなど問題提起もあった。労使懇談で組合の姿勢を問われるが、各分会で意見を持ち寄り発言している。今後も自分たちの考えを訴えながら、働き続けられる職場づくりをしたい。

社会館分会 三大寺地本委員 就業規則変更提案について

法人内に障害・



高齢・保育の各事業があるが、来年度全ての事業所で就業規則の変更がしたいと提案があった。内容を見て各分会で一緒に意見書を出す。

専門性に誇りを持ち、法律を学ぶことも大切。働き続ける職

場づくりを学び周囲にも広げる。自分たちの職場からより良いものに作り替えていく。

そよ風分会 近藤地本委員

久しぶりの独自要求提出と団交

1月22日団交を



し、インフルの予防接種補助など前向きな回答も出される。人手が無いから遅くまで働くのは業務だと訴えるが「規定の残業を超える部分は特業手当に含む」という回答。それはおかしい。今後も訴えていく。4週7休も学習すすめつつ今後求めていく。

ぼけつと分会石井オブザーバー みんなの声から要求作り

昨年5月に分会



中で要求書を出すことを固める。未組織の人にもアンケートを取り、声を上げていい職場づくりをしてきたい。素直な思いを団交の場で訴えたいと思う。春闘の手引きを読み合わせるなど準備してきている。働く者がより長く幸せに働ける職場にしたい。それが子どもや保護者にかえっていく。

さくらんぼの分会会濱田地本委員
春闘で特別休暇を勝ち取ろう

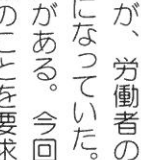
5月に個人加盟

から分会化した。

今まで団交を毎年

1~3月中に定期的

に開催してきたが、労働者の



「意見を聞く場」になっていた。それでは不十分さがある。今回は夏季・冬季休暇のことを要求する。さくらんぼの会は1カ月の変形労働で夏季・冬季に特別休暇をとると、月の基準時間に満たないので不足時間は有給消化になる。何のための休みか？ここをなんとかしたい。特別有給休暇にするよう求める。

みなと福祉分会相川地本委員 みんなも団体交渉をしよう

今、事業拡大で



人が分散していてしんどい。モチベーションが下がった。、「仕事を続けられない」などの思いを伝える団交を行った。「見通しが持てない」という思いや不払い残業の実態など涙ながらに理事会に訴える。すぐ変わるわけではないが、やってよかった。みんなが揃って、労使が話し合って一歩前に進むことが大事。団交なんて大変と思うこともあるが後になってきつとよかったと思える。今できてな

い分会も団交をしてほしい。障害協会でスポーツ交流会をするので、ぜひみなさん参加を。

めぐみ分会 中西地本委員 新分会結成の報告とお礼

園長の不適切な

言動などがあり、



去年12人退職し4年目が主任という深刻な園。11月に15人で組合結成。団交を実施した。みんなからの応援メッセージを持って団交に参加。一人ひとりが涙ながらに発言し、園長退任を求めた。その翌日に園長が辞任。引き継ぎもなく混乱したが、新園長を迎えることができた。本当に感謝している。仲間がいる事が嬉しい。大人自身も成長し続けられるよう学びを深めて、子ども

の成長を応援したい。

青年部 角地本委員 青年部の活動報告

青年部では楽しい活動を通し

て交流をしている。昨年はボウリングやBBQなどしてきた。

1月の総会では、

鍋パーティーをしなが

ら楽しく進める。



誰でも参加できるように

で広げてほしい。

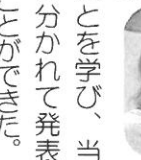
労働講座実行委員会
土井執行委員・後藤地本委員
秋闘労働講座の報告

土井・実行委員

会で話し合いを

重ねて、学びたいことを探り深め

てきた。色々なことを学び、当



日は各グループに分かれて発表し互いに深め合うことができた。後藤・学びの他に交流もあって、悩みや各職場のいい所を話し合う。労働法など知らずすにいた。知らないことは怖い。今後

も学ぶ場に参加したい。土井・労働講座で学んだ事を職場でも生かしてほしい。グリフェスの実行委員会も始まる。議論を重ねてより楽しいものにしてほしい。各分会から実行委員を送り出してほしい。

25周年実行委員会北原地本委員 25周年記念行事のお知らせ

6月7日(日)笠寺のガイシ

ホールで行う。記念誌の準備なども進んでいる。どうしたらみんな歴史を振り返られるか悩

みながらすすめている。

記念行事のテーマは「みんな

で知っ仲間力。みんな楽しんで記念行事にしたい。



NPT福保労代表団に参加する 西田さん・塚本さんに参加に向けた思いを聞きました

・今日はよろしくお願いします。
ではNPT再検討会議に東海地
本から代表として参加してくれる
二人からNPTについて語っても
らいます。

西田・でもそもそも代表がぼく
らでよかったのかな？

塚本・それは思いますね(笑)
西田・二人ともイメージよくないかも(笑)

・そんなことはないから大丈夫です。ではまずNPTに行く決め手になったのは？

西田・もともとは福島原発事故の被災地支援に行つて、そこからそういうこと(原子力のことなど)が気になって勉強とかしている時に「NPTに行つてみないか」って声をかけられて、ちょうど外に飛び出して学びたいという気持ちが高まっていた時期と重なったので行こうと決めました。それから二人でいろいろな事を調べました。

塚本・本当に「NPTって何？」っていうところから調べた。自分の動機としては単純な考えで、「戦争を無くすためには武器はいるない。」という思いから。核兵器を減らすというところを勉強したいと思った。

西田・とにかく「学びたい」というのがある。ニューヨークに行つて、核兵器廃絶に向けて、どう思うかで世界中のみんなが集まってくるのかを肌で触れて感じたい。
・そのNPTや平和のことなどについて今思う事は？

塚本・学んでく中でNPTでは核(原子力)の平和利用はありつていこうところがあつて、そこはどうかと思う。そもそも「今核兵器を持つている国以外は増やさない」というところも問題ですよ。

西田・おかしな話だね。
塚本・そのために5年前の会議では核兵器保有国と非保有国とで意見が割れて大きな成果がなかった。

西田・あと大きな問題として、劣化ウラン弾は核兵器として認識されていない。日本の原発で



塚本さん



西田さん

出た核のゴミの中から劣化ウラン弾が作られる。それは戦争に日本も加担していることになる。こういう問題もみんなに知って欲しい。どこか「自分たちは大丈夫、関係ない」って思っているところが無いかな？

塚本・それはあるよね。原発のことでもそう。福島の事故直後は原発反対派が9割を超えたけど、だんだんと風化してきていると思う。集団的自衛権の話も自分たちにとって遠い話になっていないかな？

いろいろなことを身近に感じないと動かない・動けないところはあると思う。そういう状況の中だからこそ、ニューヨークに行つて肌で感じたいと思う。

西田・NPTの事を調べていると、議員の中にも「日本でもすぐに核兵器を作れる。核兵器を

作ってもいい」なんて発言している人もいる。

塚本・核抑止論もあるよね。でも核抑止論が宗教的な考えの中で通用しない人もいる。イスラ△国の問題とか。昔の日本も負けると分かりつつ、「靖国で会おう」とか精神的なことを言つて、相手に突っ込んで行つた。ロシアとウクライナの問題とか、暴力に暴力で返す世界情勢になっている。

西田・それじゃあきりが無いよね。そこを変えていかないと。
・思いは尽きないところですが、最後にみんなにむけてアピールを

西田・みんなの集めてくれた署名を自分たちが持つて行く。みんなの中にある「核兵器を無くしたい」っていう気持ち、それを自分たちが代わりに届けるつもりでいる。だからカンパにも協力をお願いしたい。
塚本・戦争反対とか、熱い気持ち

の人はいっぱいいるはず。思いはあつても行けない人とか。その思いを集めて持つて行きたい。千羽鶴を折ってもらつてそこにメッセージ入れるとか、署名だけじゃない手段も考えたい。それと自分たち自身が楽しみたいと思います。パレードで物着てアピールしてみたいね。日本のカッコイイのが良い。目立とう！

西田・「祭」って書いたハッピーとか、甚平とかかな？音楽もやってみる？気持ちのこもつたやつをしたい。せつかく参加するから、勉強も含めて、めいっぱい楽しみたい！

・ありがとうございます。
二人が直接、各支部・分会・職場に訴えに行くので、何かの会議などの集まりにぜひ呼んで下さい。カンパのご協力と合わせて、よろしく願います。

【編集後記】

スポーツ交流会に取材班として潜入してきました。私もドッジボールとバレーボールを一緒にやってきました。ドッジボールは、まだボールがなくてマフラーやタオルなどが包んである手作りのボールで、途中ボールから色々出てきたりということもありましたが、盛り上がり楽しかったです。普通のボールより飛びにくいですが当たっても痛くなくて私的には手作りのボールがよかったです。

バレーボールは、あまり得意ではなかったのですが一緒にチームだった方々にフォーローしてもらい、とても楽しくできました。高校生以来ぐらいに、久しぶりに身体を動かしてリフレッシュができました。このような場に初めて参加したのですが、いろんな分会員の人たちと関わったり、執行委員で分会の交流だけじゃなくて一緒にスポーツをしたりと楽しかった金曜日の夜でした。